

地域での豊かな体験を通して学び育つ東っ子

福井市清水東小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	10回

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	46人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	44人
登下校支援ボランティア	6人
その他 ()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

具体的活動内容

① 「地域に根ざした豊かな体験活動」

- ・すげ笠作り体験
- ・納豆、味噌作り体験
- ・田植え、稲刈り、はさがけ体験
- ・野菜づくり体験→焼きいも、味噌づくり、おでん
- ・福祉、ボランティア活動
(養護学校との交流、通学路・公園等の清掃)
- ・地域内校外学習、見学
(ライオンセンター、ショッピングセンター、図書館、資料館、コンビニ、自動車整備工場、保育園、みち納豆味噌工場、工場等)
- ・公民館行事への参加
(地区探検、ピクトブ設計、伝承遊び体験等)



【5年 すげ笠づくり体験】

② 「地域・PTAとの連携・交流」

- ・ゲストティーチャー、地域人材の活用
(EM菌活用、水泳教室、味噌・納豆・菅笠作り、読み聞かせ、野菜・花づくり)
- ・ボランティアの協力
(登下校、町探検、施設見学、畑・花壇づくり、おでんパーティ、昔遊び、交通安全教室)
- ・PTAや地域と連携した合同行事の開催
(合同体育大会、学校保健委員会、親子の集い)
- ・PTAや地域との交流、話し合い、情報交換
(保護者懇談会、民生・児童委員と語る会、地区懇談会、地域・学校協議会)

成果と課題

【 成果 】

児童の自分たちの地域への関心や愛着が増し、学校行事等への保護者の参加者数増や、学校評価の保護者アンケート結果にも見られるように、「開かれた学校づくり」は高い評価を得ている。

【 課題 】

地域・家庭の学校への協力度は非常に高いものがあるが、近年、共働きの増加、祖父母のいない家庭の増加などから、ボランティア等への参加が少しずつ減少している状況である。東小校区だけでなく、中学校区全体でボランティアの募集等を考えていきたい。